

激戦必至！レギュラー争い

後期リーグ開幕！カギを握る選手は…

ファンタジスタ、覚醒のとき

最近では「ディフェンス力や運動量がついてきた」と秋田監督が語る通り、チームの生命線を握る前線からのプレスなども積極的に行う姿勢が目立つ山下。10番のエースナンバーを背負う今季は、リーグ戦での出場は増えたものの、なかなかゴールに絡めず1得点と満足な結果は残せていない。ゴール前でのテクニック、左足から放たれるシュートは言うまでもなく一級品。優れた得点感覚を発揮し、波に乗れば「覚醒」は起こるはず。04年高校選手権得点王も今シーズンがラストチャンス。今まで溜めてきたうっぷんを後期リーグで全て晴らしたい。



(FW・4年)
山下真太郎

シンデレラボーイが見せる成長の証

著しい成長を見せ、今や駒大サッカーに欠かせない存在となった山中。FW、右サイドハーフで起用され、前期リーグ戦は2戦で2発、先日行われた天皇杯予選・横河武蔵野FCとの一戦でもチーム唯一の得点を挙げている。そんな得点能力も魅力だが、1番の特徴はやはり、いつでも全力でプレーし、戦うその姿。秋田監督が「開幕戦は頑張れる選手を使いたい」と言うだけにスタメンの可能性も十分にありそうだ。

(FW・3年)
山中淳樹

初ゴールの記憶を胸に…

第6節の神奈川大戦でリーグ戦デビューを果たすと、迎えた第7節の明大戦。同点の後半30分に途中出場。その6分後にはCKのこぼれ球を押し込んでチームの逆転勝利に大きく貢献した。だが、大臣杯予選では2試合に出場したものの、結果を残せずチームも予選敗退。その悔しさを胸に、後期リーグへ懸ける思いはいつそう強いはず。指揮官が評価するスピードを武器にそして、初ゴールを挙げた明大を相手に再び奇跡を起こす。



(FW・3年)
佐藤佳成

本誌予想
開幕戦スタメン



直近の天皇杯予選・練習試合などを踏まえて予想した開幕戦スタメン。前期からほぼ固定されているDFラインはこの4選手が確定的。ボランチには高さのある市川を、その相棒には森本を配置した。最激戦区のFWは、高さのある三島、テクニックを持った山下と予想。「リーグ戦は25人くらい使うと思う。相手によってはメンバーを変える可能性もある」と指揮官が示唆する通り、山中、佐藤佳などの『ラッキーボーイ』の出現にも注目だ。

<前期終了時点順位表>

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	流通経済大学	9	1	1	28	12	+16	28
2	国士館大学	8	1	2	24	13	+11	26
3	駒澤大学	6	4	1	21	18	+3	19
4	中央大学	4	3	4	26	21	+5	16
5	法政大学	4	5	2	16	19	-3	14
6	専修大学	3	4	4	12	14	-2	13
7	早稲田大学	4	6	1	16	19	-3	13
8	筑波大学	4	6	1	23	28	-5	13
9	神奈川大学	2	3	6	13	13	0	12
10	明治大学	2	5	4	14	20	-6	10
11	東京学芸大学	2	6	3	11	22	-11	9
12	順天堂大学	1	5	5	11	16	-5	8

★得点ランキング★

- 9ゴール 西川優大(筑波大)
- 8ゴール 島田祐輝(駒大)
- 7ゴール 高橋大(国士大)
- 小池悠貴(中大)
- 6ゴール 山本孝平(法大)
- 木島悠(筑波大)
- 池田圭(流通経大)

★アシストランキング★

- 6アシスト 柏好文(国士大)
- 5アシスト 伊藤大介(順大)
- 鈴木崇文(東学大)
- 宮下弘(神大)
- 鈴木寿毅(駒大)
- 4アシスト 宮崎智彦(流通経大)
- 他2名

Next Preview vs 明治大学



▲明大のバスサッカーの中心を担う橋本



▲東京Vに入団が内定している林(左)と藤田

後期リーグ初戦の相手は、昨年のリーグ王者・明大。今季は低調なパフォーマンスが続くが、前期終了時点で10位に甘んじている。第7節の対戦でも駒大が逆転勝利を収めている相手だが、油断は禁物だ。秋田監督も警戒する林橋本を中心とした攻撃陣は脅威。「細かいパスをつながせないようにしたい」と言う通り、前線からの連動した守備で攻撃の芽を摘みとり、自分たちのリズムにもっていきたいところ。そして、それを90分間粘り強く続けることができれば、勝機は必ず見えてくるはずだ。首位との勝ち点差が開いているだけに、初戦に勝って勢いを付けたい。

油断は禁物！

後期リーグ展望

昨年の前期終了時に見えた「5強」の構図とは打って変わり、今季は流通経大、国士館大の上位2校が3位の駒大を大きく突き放している。

流通経大は攻守ともにタレントが揃っており、前期はリーグ最少失点、最多得点を記録。それを勝ち点2差で追う国士館大はMF 柏・伊東を軸とした切れ味鋭いサイド攻撃が魅力だ。ただ、早大、明大など力のあるチームが下位に沈んでいるだけに、優勝戦線にも波乱が起こる可能性は十分にあり得る。